

地域拠点・道の駅の検討状況について

令和元年10月15日

幌延町まち・ひと・しごと創生会議 幌延町地域振興（観光）計画アクションプラン検討

1. 過年度に実施された各種調査を踏まえたデータ及び利用想定 of 整理

調査名	概要	考えられる主な利用想定
天塩大橋・道路利用者定点調査 (H27・幌延町)	<ul style="list-style-type: none"> ・8~10月が最も多く7万台を超える。最も少ない月は3月で5万台を下回る。 ・1年を通して稚内方面への台数が多く、5月が最大で17%になる。 ・乗用車70%、小型貨物13%。バス2%、大型貨物14%となっている。 ・名寄方面が小型乗用12:00、自動二輪11:00、小型貨物が10:00、大型バスが9:00、大型貨物が10:00、上り全体では11:00にピークを迎える。 ・稚内方面では、小型乗用が18:00、小型貨物が10:00、大型バスが20:00、大型貨物が7:00、下り全体では18:00にピークを迎える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名寄・留萌方面に向かう「小型乗用」「自動二輪」の昼食 ・名寄・留萌方面に向かう「大型バス」「小型貨物」「大型貨物」の午前休憩
留萌管内道の駅調査 (H25・留萌開建)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の多くは道内旅行者で、ビジネスは10%未満となっている。道の駅の利用目的としては、地元及び周辺住民は食事・買い物最も多く約46%、他地域からは休憩・トイレが最も多く約42%。 ・約50%の方が1~2人、家族で移動している。 ・満足度が50%を越える高い項目は、道の駅富士見の駐車スペース、道の駅風Wとままえのトイレである。 ・キャンピングカーのマナー違反などの課題もある。 ・道の駅欲しいサービスとしては、ATM、ガソリンスタンド、入浴施設が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域住民の食事・買い物 ・道内旅行者（道路利用者）の休憩・トイレ利用
JAF道の駅利用者アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅利用の目的は、52%が休憩トイレ。 ・ドライブにおける「道の駅」の位置づけは、「走行中、見つけると必ず立ち寄る」が約38%と最も多い。 ・事前に調べることは、土産（特産品含む）が約44%と最も多い。 ・道の駅にあれば良いサービスは、入浴関連施設、ガソリンスタンド、各種情報提供、営業時間の延長、仮眠施設が10%を越えている。 ・道の駅での消費額は、1,000円から3,000円が約64%と最も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブ旅行者の立ち寄り、お土産の購入（最大3,000円程度）
外国人レンタカー旅行者行動調査 (H28・北海道開発局)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年6月・7月の夏期、11月の秋期、12月の冬期でも宗谷方面へのレンタカー移動が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外問わずレンタカー利用者の休憩利用
道の駅・給油所全道整備状況 (H28・北海道開発局)	<ul style="list-style-type: none"> ・幌延町は給油所登録するが2箇所の市町村の一つになっている。 ・稚内から中川間にはEV充電設置が設置されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GSやEV充電施設を併設することで、各利用者の取り込み

2. まちなか・まちそと案に関する条件や機能等の整理

項目	まちなか	まちそと
基本機能	<ul style="list-style-type: none"> ○休憩機能 利用者が無料で24時間利用でき十分な容量を持った駐車場、清潔なトイレ(原則、洋式)、子育て応援施設(ベビーコーナー等) ○情報発信機能 道路及び地域に関する情報を提供(道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域連携機能 文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設 ○その他 施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化 ○設置者 市町村又は市町村に代わり得る公的な団体
対象プラン	プランC:幌延市街(JR幌延駅)	プランA:新天塩大橋付近／プランB:幌延IC付近／プランD:その他
特性	道の駅利用者の町内周遊とともに、町民の利用を促す施設	アウトドア愛好家の他、大型車など道路利用者が気軽に立ち寄れる施設
立地の特性から考えられる機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ロマノフスキー放牧場 ・サイクリング拠点 ・スーパー銭湯(簡易宿泊設備付;憩いの湯代替施設) ・コンビニ(移転) ・長應寺宝物保管展示施設 ・鉄道駅との連携 ・イベント広場、朝市・夕市 <p><主に町民対象機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内遊技場 ・高齢者用住宅 ・保健センター ・社会福祉協議会 ・町民農園 ・コミュニティスペース ・バス発着場 ・コインランドリー ・商工会、JA 	<ul style="list-style-type: none"> ・トナカイ・ロマノフスキー観光(飼育)牧場 ・サイクリング拠点 ・シャワー ・ノースガーデン ・体験スペース広場(夏季:そば畑、施設園芸／冬季:スノーモービル・カイト体験場) ・小動物園、ドックラン ・電熱供給施設(バイオマス、廃棄物ペレット) ・川の駅(アクティビティ体験拠点／カヌーポート、保管庫)の併設 ※天塩川付近の場合 ・天塩川・サロベツ川遊覧船 <p><主に町民対象機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスペース ・チーズ工房などの加工施設
制約事項	(宅地造成等規制法)宅地造成工事規制区域⇒知事許可必要(公衆浴場法)	(森林法)伐採届、1ha以上の伐採⇒知事許可必要 (河川法)河川区域の占用、掘削、工作物⇒許可必要 (自然公園法)区域内での開発行為⇒禁止又は制限
備考	国道や道道からアクセス性(必要に応じて道を新設) 騒音対策 スペースが限られるので、既存施設・店舗との連携・補完が必要。	まちなかからのアクセス(町民利用) 既存施設(トナカイ観光牧場、ゆめ地創館)との連携

3. 平成30年度の検討状況整理

<平成31年1月24日(木)>

●拠点整備についての意見

- ・ 町民の利用を考えると温泉等の設備が必要。また、既存の飲食店を圧迫しないようにする。
- ・ 幌延らしい特産を扱ってほしい。
- ・ 立地が郊外の場合、冬の運営が厳しい。町中の方が良いと思う。温泉や子供用の遊具などがあれば良い。
- ・ 車中泊の方はマナーが悪く、町への経済効果も少ないため、ターゲットにしない方が良い。
- ・ 秘境駅を道の駅にしたらどうか。
- ・ 町民の利用も考えると駅近くの防雪林付近でも良い。
- ・ 道の駅の目的は経済効果ではないか。町民のためにも重要であるが、外のお金を稼ぐことにならない。
- ・ 私自身は道の駅は不要だと思っている。しかし、老朽化する町の施設と一緒に道の駅をつくることで、財政面などにメリットがあれば、道の駅整備も良いのではないかと。その場合は、市街地での整備が前提。
- ・ 川の駅と道の駅の連携した道の駅ができればよい。夏場はカヌー・釣り、冬はワカサギ釣り、スノーモービルなど人が魅力を感じるアウトドア体験を提供したらどうか。町中に道の駅を設置する場合、町の商店と競争が生じるため難しい部分もある。天塩大橋の近くに道の駅・川の駅を整備したらどうか。
- ・ できることを実施し、実績を作ってから、具体的な道の駅の議論をしたらどうか。将来的な道の駅を目指して、実績を積み上げることで、道の駅を運営する組織もその中で生まれて産まれてくるかもしれない。
- ・ 町営風呂の改修が必要であれば道の駅に併用する形で出来たら良いのではないかと。その場合は、町中にあると良い。
- ・ 道の駅ができることで町の特産品開発も進むのではないかと。
- ・ 町中に設置した場合は、停車時のアイドリングなどの問題もある。また、子供が気軽にいける場所で、遊べる施設が欲しいとの意見もあった。
- ・ どこかの道の駅でピンク色の施設がありインスタ映えするため人気になっている。奇抜の道の駅も良いかと思う。
- ・ 町中でも中途半端な場所だと、結局車で行くことになる。町中に道の駅ができたからと言って、町民が行くようになるかは疑問がある。また、オートバイが利用するようになったら、町中は騒音が問題になる。町民がお風呂に入るための道の駅は違うと思う。もし高齢者が行けないようなら、バスなどで足を確保すれば良い。広い土地と幹線道路から近い場所が良いのではないかと。
- ・ 幌延町は畜産に特徴があり、ジビエ料理に繋がると思う。
- ・ 鹿の駆除で年間600頭処理しており、それを活用できれば良い。
- ・ 町外から人を呼ぶには、アウトドアは良いと思う。実際に道の駅を運営する人を呼び、その人を中心にコンセプトなど決めていったら進むのではないかと。
- ・ 幌延は行政が主体となっている。地域振興で直接関係するのは、民間の方。民間の方の熱意が必要。

●道の駅運営(実施主体)のあり方

- ・ 道の駅をきっかけに移住促進が進めばよい。
- ・ 定年された元気な方に活躍頂き、道の駅の運営コストを抑える工夫が考えられる。
- ・ 人材の確保が重要となる。今後、どのような運営をするか検討頂きたい。
- ・ 冬期は赤字になると思う。町が赤字を補填してまで、道の駅を運営すべきか分からない。運営した際の採算性が心配に感じている。
- ・ 冬の遊び方を教えれば、旅行者は来てもらえると思う。リピーターも増えるのではないかと。冬が来ないではなく、冬に人を呼ぶためにどうするか考える必要がある。

4. 平成30年度の検討のまとめ

項目	共通	まちそと	まちなか
運営について	<ul style="list-style-type: none"> 既存の飲食店を圧迫しないようにする。 定年された元気な方に活躍頂き、人材確保・効率的な運営が出来ればよい。 冬期は赤字になると思う。 		
機能について	<ul style="list-style-type: none"> 幌延らしい特産品を取り扱う。 幌延は畜産が特徴的なためジビエ料理に繋がると思う。 害獣駆除で駆除している鹿(年間600頭)を活用できると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 町外から人を呼ぶのであれば、アウトドアが良いではないか。冬の遊び方を教えれば、旅行者は来てもらえると思う。リピーターも増えるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 町民の利用を考えると温泉、子供用の遊具があると良い
立地について		<ul style="list-style-type: none"> 幌延の自然環境を活かして川と道の駅となる拠点が良いではないか。アウトドアで郊外の場合も、町民の足を確保することで、利用を促すこともできる。新たな集客を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 町民の利用を考え町中に整備した方が良い。 老朽化する町(風呂等)の施設を合わせて整備するなら、町中が必須となる。
ターゲットについて	<ul style="list-style-type: none"> 車中泊の方はマナーが悪く、町内の経済効果が少ないため、ターゲットにしない方が良い。 		
留意点・懸案事項について	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅の目的は外のお金を稼ぐことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 郊外の場合は、冬期の運営が厳しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 町中の場合は、車のアイドリングやバイクの騒音などの問題が出てくると思う。 町中に道の駅があるからと言って、町民が使うかは分からない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 出来ることを実施し、実績を積み上げての駅の運営や機能について検討した方が良い。 道の駅ができれば特産品開発も進むと思う。 奇抜な道の駅で注目を集めることも考えられる。 道の駅を運営する人を呼び、その人を中心にコンセプトなど決めていったら進むと思う。 地域振興で直接関係するのは、民間の方。民間の方の熱意が必要。 		